

秋になつて

G Am Bm Am G D7

秋になつて 雨も上がつて
涼しくなった 風も吹いてきた

ふとした時 起る感情
秋の心と書いた「愁(うれい)」が

さみしい気持ちと物悲しい気持ちが
何でもない僕でも 詩人にさせる

今心の底に 流れて消えてゆく
思いを捕まえてようとしても
二・三度音をとめて引いてく 波のように
次第に小さくなってゆく

秋になつて 空も高く
薄くなった 雲を見つめる

ふとした時に なんだか寂しい
気持ちになつて 思いにふける

何かを感じて センチになる気持ちが
何でもない僕でも 詩人にさせる

今心の底に 流れて消えてゆく
思いを捕まえたところで
言葉にしたあとに なんだか違うニヤンス
次第に変わってゆく